
南風

ミサキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

南風

【著者名】

ミサキ

N7337B

【作者名】 【出版社】

【あらすじ】
家庭教師ヒットマンREBORNの小説です。

第一話 雲雀恭弥の一日

「雲雀さんって群れる事が嫌いなのに、どうして風紀委員なんかやつてるんだろうなあ。どう思つて、獄寺君」

「あんな奴の事俺が知るわけないじゃないですか。本人に直接聞いてみればいいんじゃないですか？」

「絶対に俺が行ったら殺されるよ。そうだ。獄寺君聞きたいくれないと？」

「何で俺が…でも…」これは10代田に認めてもらえるチャンスだ！
「じゃあ行つてきますよ」

「断られるかと思ったのに…」

「ありがとう！獄寺君」

「10代田の為ならこれしきの事、どうつて事ないですよ
10代田の笑顔可愛いなあ。

「…ここが雲雀のいる場所…」

「この前も来たが、相変わらず入りづらいな…」

山本でも連れてくればよかつたかな…いやいや山本に頼るのだけは絶対に嫌だ。

「…し、失礼します…」

「…誰もいない…いないんならしようがないよな。帰るか」

その頃ツナは何故か雲雀と一緒にいた。

「あの…雲雀さん何でここにいるんですか？」

「僕がどこのようが、僕の勝手でしょう」

…相変わらず俺様主義だこの人…

「でもここって1年の棟ですよ」

「僕はいつでも自分の好きな学年だから。今日はあの赤ん坊いないの？」

赤ん坊つてリボーンの事か…

「赤ん坊なんですから、そんなに学校に来る訳ないじゃないですか」

「ふーん。つまらないな。折角、あの赤ん坊に会うために一年生になつたつていうのに」

「この人リボーンに会うためにわざわざ一年生になつたの…？
「何での赤ん坊の事がそんなに気になるんですか？」

「今まで会つた中で一番強かつたから」

君の事も気になるんだけどね…

「この人あの時の事だけでリボーンの実力見抜いてたの…？」

「でもまあ多分また会えると思いますよ。

あいつ、いつの間にか学校に来て見えない所で俺の事を見張つたりしますから

「きなり出てきて死ぬ氣弾を使うのは本当にやめてほしい。

「気になつてたんですけど、何で雲雀さんは風紀委員になつたんですか？」

群れる事は大嫌いなのに…

「この学校…並盛中が好きだから」

この人意外といい人かも…と思つたツナだった。

一部始終を見ていた獄寺は二人の会話の内容がほとんど聞き取れなくて、苛立つ^{いらつ}っていた。

10代目と雲雀の野郎がいい雰囲気になつてやがる… 10代目の右腕は誰にも渡さねえ！と一人で燃えていた。

第一話 雲雀恭弥の一日（後書き）

掲示板でネタ募集をして、リクエストされたものを書きました。
リクエストの方はまだ募集しています。

読んでくださった方有難うございました。良かつたら感想の方もよ
ろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7337b/>

南風

2010年10月8日12時37分発行